

令和5年度 発達支援室kodomo鶴見中央教室
事業所自己評価シート

職員による自己評価

事業所自己評価シート

保護者による評価

A環境面

- ・クールダウンパーテーションあり
- ・常にヘルプが必要な状況ではある（送迎との両立に限界を感じる）。
- ・活動ごとの席配置などの配慮ができています。
- ・Gmailでの情報のやり取りはできている。活動の報告が1か月に1回の月報になるのでこまめに伝えられる機会があると良さそう。

B業務改善

- ・職員の振り返りの時間を確保したいが送迎
- ・中央教室以外の職員等が評価してほしい

C適切な支援の提供

- ・職員の振り返りの時間の確保をしたい
- ・保護者様との面接やアセスメントを行い計画を作成できている。
- ・支援の共有がしやすいように職員が計画をすぐ確認できるようにしている。
- ・立案は常勤で行い月に1回の教室会議で内容についてのすり合わせを行っている。
- ・支援終了後の時間がなかなか取れない状況（送迎に出してしまう）なので振り返りの時間は課題に感じている。
- ・日々の記録はマストで行っている。課題の設定や近々の様子を把握するうえでも記録を見返して行っている。
- ・ペアレントトレーニングを行いたいが多忙で時間的な余裕がなく相談対応や簡単なアドバイスどまりになってしまう。

D保護者への説明責任・信頼関係

- ・契約時にできる限りの説明を行っている。
- ・障害のない子との交流自体は公園遊びなどで機会があれば行えるが、それを目的に活動の計画は立てていない。

E非常対応

- ・マニュアルの整備を法人一律で取り組みたい。
- ・身体拘束について契約時に説明をしている。

A環境面

- ・集団としての活動の場が提供されている
- ・先生の入替わりがある
- ※送迎が負担で入れ替わりがあった
- ・ロッカーから荷物を出し入れすることがわかりやすい
- ・スタッフの資格の有無を全て把握していない
- ・子どもに今日はいつもの先生がいなかった。と言われる。

※送迎があるため

B児童への支援内容

- ・お話をした内容になっている
- ・同学年との交流がわからない
- ・外出活動やパソコンを使った活動を楽しみにしている。
- ・現状の支援で満足しています。
- ・プログラムが固定化されないように気をつけられている。

C事業所からの情報発信

- ・当日の担当の先生による
- ・送迎時に活動の様子やアドバイスを頂いている

D非常対応

- ・定期的に避難訓練を行っている。

E満足度

- ・先生方の支援のおかげで日々子どもの出来る事が増えとても感謝しています。ありがとうございます。
- ・子どもが通所を楽しみにしています。
- ・時間帯のスケジュールなどもう少し早く教えて欲しかった。
- ・送迎がなくなってしまうので通えなくなってしまうので残念。



事業所内での分析

【共通点】

- ・職員配置が安定していないため、子どもや保護者、職員に不安をあたえている。
- ※送迎が不安で職員の定着が難しかった。その為、送迎を失くすこととした。本部より、長年経験と実績のある職員を異動して、定着を図るように改善して、安定することができた。
- ※送迎が負担になり、職員が安定してなかった。
- ・支援の計画はニーズや課題に沿って作成できている。
- ・プログラムが固定にならないよう配慮されている。
- ・契約時に周知説明がされている。
- ・障害のない子と活動する機会はほとんどない
- ・ペアレントトレーニングはしっかり時間を取って行っていない。
- ・情報発信の機会（活動報告を含めて）を設けたい（ブログの更新など）。

【相違点】

- ・送迎やスタッフの出勤時間が違うため、スタッフ同士での振り返りやミーティングが出来ない。
- ・お子様同士の交流などが共有しきれていない（保護者様と）。
- ・担当によってフィードバックの差がある。

分析・検討してみて...

事業所の強み

- ・子ども達が教室を楽しみにしている
- ・保護者と職員の情報伝達がおこなわれている
- ・個々の課題、発達状況を反映し計画されている
- ・非常災害に備え定期的に訓練がおこなわれている
- ・プログラムが固定化されないように考えられている。
- ・有資格者の職員が活動のサポートをしている。
- ・パソコンや外出活動等のプログラムの実施

事業所の改善点

- ・職員の配置数、専門性の周知
- ・保護者同士の交流を増やす。
- ・ホームページ等で活動の様子を掲載。
- ・ペアレントトレーニングを行う環境面や人員の育成。
- ・お子様の特性や課題の把握、共有の徹底。
- ・活動終了後の振り返り等の時間の確保
- ・公共施設や公園を通して障害のないお子様と関わられる機会を増やしていく。
- ・非常勤の先生方への研修の機会を増やしていく。

事業所の改善への取り組み

- ・ 職員の配置や、専門性を周知し、教室の取り組みを明確にする。
- ・ 保護者会を行い保護者同士の交流の場を設ける。
- ・ フィードバック時に家族支援を取り入れる。
- ・ ホームページの更新。
- ・ 公園や戸外活動を増やし、公共の場のルールを知り地域交流を深める。
- ・ ペアレントトレーニングの提供を目指し人員の育成や研修の機会を作っていく。
- ・ 支援計画や日々の様子の共有を徹底していく。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

送迎の関係で、常勤が教室に残ることが出来ず、保護者、非常勤の先生方に不安を与えてしまいました。保護者の方々には職員の配置数の周知をしていきたいです。また、ホームページを更新し活動内容を明確にし保護者の方に周知してもらおう取り組んでいきます。令和6年度より送迎サービスが廃止となるので、より一層今まで手を回していなかった活動や利用者様同士の交流等に力を入れていきます。時間帯等の変更もあるのでこれまで以上に生活の場としての機能も担えるようになると思います。保護者様や関係機関様との連携を密に行いkodomoの教室らしいあたたかい療育を行ってまいります。

子ども達が楽しく教室に来てもらえているのが最大の強みです。今後もこの強みを生かし、楽しくのびのびと通所できるよう精進してまいります。